



加藤 元の



と暮らして
みませんか

38

猫の顔がどうして丸いかご存じでしょうか。

実は、猫の歯の数が犬よりも少ないことに関係しています。犬は門歯が上下十二本、犬歯が上下四本、奥歯のうち前臼歯が上下十六本、下あごの左右に六本で、全部で四十二本あります。

ところが猫は、門歯は十二本で犬と同じですが、犬歯は上下四本、前臼歯は上あごの左右六本、下あごの左右に四本、後臼歯は上下四本で、全部で三十本と、犬より十二本も少ないのです。トラやライオンなどのネコ属の動物はみな同じです。

猫の歯は犬よりも少ないうえに、臼歯も数が少なく幅が薄く

猫の舌

ザラザラでブラシ代わり

て、鋭いのこぎりの歯のようになっていきます。そのうえに、門歯も犬に比べてうんと小さくなっています。だから、猫は犬よりも歯が小さく、数も少ないためにあごが短く、しかも顔の両側の分厚い咬筋が発達しているのです、それだけ顔が丸く見えるのです。

続いて、猫の舌をよく観察してみましよう。

猫の舌は、表がザラザラしています。よく見ると、たくさん硬いトゲのようなものが正しく並んで生えていることが分かります。

これらのトゲのようなものは、口の奥の方に先を向けて生えています。また、真ん中ほど長く、両端の前のほうは短くなっています。このトゲのようなものは、舌の表面の細胞が変化してできたもので、毛をなめれば、くしゃやブラシの役割をします。

猫はこのような舌を持っているので、毛づくろいや、食べ物や骨などから、肉や脂をきれいにしなめることができるのです。

犬の舌は猫のようにザラザラしていません。犬の舌は暑いときに大きくなり、パンティング（速い息）をすることで体温調節に大きな役割を果たしますが、猫はもとも温帯や熱帯地方の動物で、暑がりではないので、パンティングをすることはありません。

（ダクタリ動物病院広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長）